

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課	生涯学習担当	内線等	3405
----	-------	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	生涯学習市民大学設置事業				
根拠法令等	生涯学習推進計画		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

事務事業の内容

対象	学ぼうとする市民に
手段	講座等を提供することによって
想定する成果	誰でも、いつでも、どこでも、何でも学習できる環境整備を図る。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
総合講座	1講座 500人参加	1講座 500人参加	1講座 500人参加
入門講座	14講座 442人参加	14講座 459人参加	14講座 408人参加
専門講座	4講座 133人参加	4講座 151人参加	5講座 275人参加

目標値

成果指標名	講座参加の割合
成果指標の説明	延べ受講者 / 受講者 × 講座回数 × 100

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	100%
	実績	82.2%	82.1%	-
事業費	事業費	5,716,000	4,881,000	5,230,000
	人件費	4,286,000	4,179,000	4,248,500
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	10,002,000	9,060,000	9,478,500
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	1,091,000	1,001,000	1,079,500
	一般財源	8,911,000	8,059,000	8,399,000

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	参加者数も増え、生涯学習に対する関心が高まった。
効率性	6	6	公民館講座など委託講座を設け、経費の削減及び市民のニーズに沿った講座の開設ができた。
公共性	6	6	趣味・実技講座は民間で実施しているので、入門（きっかけ作り）の講座として開設した。
緊急度	10	10	生涯学習への市民のニーズは高く、今後も推進を図る必要がある。
小計	28	28	
市民参加度	3	3	講座の修了生からアンケートを取り、市民のニーズを把握している。
合計	31	31	
総合評価	B	B	生涯学習推進計画の基づき、講座数、内容の充実を図る。若者、男性への参加呼びかけが必要である。

これまでに実施した改善点

達成度	講座数を少しずつ増やし、市民のニーズに対応した。
効率性	経済性を検討し、委託による講座を開設した。
公共性	趣味・実技講座と教養講座のすみ分けをし、趣味・実技講座は体験講座とした。
緊急度	総合、一般、専門講座の3つのコースに出前講座を加え4つのコースとした。
市民参加度	生涯学習専門委員会で講座内容について検討することとした。

今後の改善すべき点

達成度	講座数や学習内容の選択の幅を増やし、生涯学習への関心を高める。
効率性	講座開催日、時間帯、会場などを工夫して、受講生を増やす。
公共性	民間に任せる講座と市が行なう講座の方向性を検討する。
緊急度	専門講座の開設数の増加及び内容の充実を図りたい。
市民参加度	市民ニーズにあった講座を開設するための方法について検討する。